

『ラテンアメリカ野球から学ぶ、選手指導・育成研修会』

3月14日(火) 18:30~20:30 @北海道旭川市 旭川市民文化会館

☆人口1000万人の小国から、
毎年多数のメジャーリーガーを輩出

カリブ海に浮かぶドミニカ共和国出身の多くの選手たちが、メジャーリーグや日本のプロ野球で活躍しています。彼らの活躍を日本では『身体能力の違い』『ハングリー精神の違い』と表現されていますが、実は彼らの活躍の根底にあるのは我々日本人にもできる『選手指導・育成方法の違い』であることはあまり知られていません。



- ①ロサンゼルス・ドジャースにて25年以上の期間、選手育成に携わっているコーチからの学び。
- ②選手の個々の能力を最大限に引き出すプログラム・練習方法の存在。
- ③現役メジャーリーガーから日本の指導者・選手へのアドバイス。
- ④【最新！】筒香嘉智選手、ドミニカウィンターリーグ挑戦の現場から。

毎年、多くの有望選手を輩出し、2013年WBCでも優勝を飾ったドミニカ共和国の野球から、本物の選手指導・育成方法にぜひ触れてみてください。

野球指導者の方、保護者の方、将来指導者になりたいとお考えの方、野球やスポーツ・教育に興味のある方、どなたにも興味を持っていただける内容です。

閉塞感漂う日本の未来を変えるのは、今このパンフレットをお持ちのみなさんです！

【参加方法】

氏名・職業・電話番号・メールアドレスをご記入の上、下記アドレスまでメールにて事前にご連絡ください。

※件名に『3月14日旭川会場参加希望』とご記載ください。

主催：NPO法人BBフューチャー（担当・佐野）

協賛：プロスペクト株式会社

Mail: info@bb-future.net お問い合わせ先TEL: 072-277-3393

定員になり次第受付を終了しますので、可能な限り事前にご予約下さい。

【参加費用】

3,000円/人（3月7日までにお申し込みの方）

3,500円/人（3月8日以降にお申し込みの方）

（お支払方法は参加連絡をいただいた方に別途連絡）

（当日参加は4,000円になります）

【ナビゲーター紹介】

阪長 友仁（さかなが ともひと）

大阪府出身 新潟明訓高校、立教大学卒

☆プロフィール

- ・スリランカ野球ナショナルチームコーチ（2006年）
- ・タイナショナルチームコーチ（2006年）
- ・ガーナナショナルチーム監督（2007年）
- ・青年海外協力隊 野球隊員 コロンビア（2008～2010年）
- ・JICA企画調査員 グアテマラ（2011～2014年）
- ・NPO法人BBフューチャー・プロスペクト株式会社（2014年～）

ドミニカ共和国野球指導法調査・研究、国内チーム・プロ野球選手サポート業務などを実施

2015年12月筒香嘉智選手のドミニカウィンターリーグ参加を現地でコーディネート（同選手のコメントは裏面）



研修会参加者の声

(福岡県 第13回筑紫区中学校野球部指導講習会の例)

- ・2015年2月7日 14:00～16:30 @福岡県筑紫野市立二日市中学校
- ・参加者:約50名 (公立中学校野球部顧問が中心)
- ・テーマ:世界の野球を通じて学ぶ『これからの日本野球』
- ・アンケート回収数:43
- ・研修会について:非常に良かった40名、良かった3名

・感想例

『ただただビックリした!話を聞くことができて良かった!』(55歳、指導歴20年)

『世界基準で野球を考えたことがなかったので、大変参考になった!』
(43歳、指導歴12年)

『野球指導に対する考え方が180度変わった!』(30歳、指導歴1年)

『選手との信頼関係の作り方の根本を考え直していこうと思った!』
(37歳、指導歴10年)

『これまで良かれと思ってやっていたことで、逆に子どもたちの成長の芽を摘んでしまっていたことに気付かされた!』
(49歳、指導歴19年)

『これからは目先の勝利よりも、子どもたちの能力を最大限引き出せるような練習方法を考えていきたいと思った!』
(40歳、指導歴16年)

『野球指導者としてだけでなく、教員としても非常に勉強になった!』
(40歳、指導歴17年)、(28歳、指導歴1年)

『メジャーリーガーを多く輩出しているドミニカ共和国の選手育成方法が日本の指導方法と根本的に違うことに驚いた!』
(27歳、指導歴3年)



・2015年12月 ドミニカウィンターリーグに参加した筒香選手のコメント

『ドミニカではものすごく荒れた草むらで、子どもたちが思いっきりバットを振り回し、何事もなかったようにゴロを捕って野球をしていました。彼らは全く失敗を恐れていないし、指導者は子どもたちがどんどんチャレンジできる環境を用意していることがすごく印象的でした。少しでも多くの日本の指導者の方が、ドミニカの野球に触れる機会を得て、日本の子どもたちの能力をさらに伸ばすことに成功し、将来大きな舞台で活躍できる選手を育てていただけたらうれしく思います。』

※写真

(左)ドミニカウィンターリーグ参加時の筒香選手と現地でコーディネーター兼通訳を務めた阪長
(右)試合前の球場で子供たちと

